

【北大東村教育委員会】

1人1台端末利活用計画

1.1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末をはじめとするICT環境の積極的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実するとともに、教師の負担を軽減する。「個別最適な学び」では、個々の進度や理解度等が異なるため、制約された時間の中での進め方や「協働的な学び」では、個々の対話・グループ対話が必要な感化される場面等も想定されます。一体的に充実させることで、児童生徒が「主体的・対話的に学ぶ」環境づくり、児童生徒の資質・能力の育成に繋げていく。

2.GIGA第1期の総括

コロナ禍で、臨時休校中ではあったが、小規模校（少数世帯・小人数）のため、タブレット端末の持ち帰りは実施していなかった。（※1週間分のプリント課題を各世帯へ配布し、翌週に回収・新規課題を配布。又、学校・家庭間の連絡や情報共有等も問題・支障はなかった。）

端末の持ち帰りについては、教育委員会・学校・家庭での児童生徒の活用等に、適切な取扱いや情報モラル・機器故障不具合時の保障・通信環境等に課題が生じた。

現在は、教職員の校務や校内研修、児童生徒の授業等、学校内での利活用を促進。

3.1人1台端末の利活用方策

端末整備・更新に向けて、1人1台端末の環境を継続維持するとともに、教師の校務や研修での利活用を促進し、授業や授業外での活用にも幅を広げていけるよう推進していく。又、児童生徒の特性や理解度・学習進度に応じた指導の個別化。意欲的に興味・関心がわく学習活動機会の提供を図っていく。

今後は、教職員のICT研修・スキルアップを図り、学級間・職員間の利用格差の是正を図りながら、児童生徒が端末の適切な取扱いを判断できるように、前2.記述の課題を改善・策定し、端末の安心・安全な活用ができるよう家庭への持ち帰りや授業での活用促進に繋げていく。